

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度第11回大潟区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ・報告事項（公開）

（1）大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の臨時休館について

### ・協議事項（公開）

（1）令和2年度地域活動支援事業（大潟区）成果報告会について

（2）自主的審議事項について

### ・その他（公開）

## 3 開催日時

令和3年2月18日（木）午後6時30分から午後8時5分まで

## 4 開催場所

大潟地区公民館 3階 集会室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：五十嵐公子、金澤信夫、君波豊（会長）、佐藤忠治（副会長）、新保輝松、  
関清、土屋郁夫、中野幹根、濁川清夏、俵木一松、俵木晴之、細井雅明、  
山岸敏幸（14名中13名出席）
- ・ 柿崎区総合事務所：滝澤産業グループ長、玉井班長
- ・ 事務局：大潟区総合事務所 熊木所長、柳澤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、  
平山市民生活・福祉グループ長、渡邊教育・文化グループ長、水澤主任  
（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【柳澤次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【君波豊会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：俵木晴之委員に依頼

### 【君波豊会長】

それでは、報告事項に入る。「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の臨時休館について」市から説明を願う。

### 【滝澤G長】

資料No.1により説明。

### 【君波豊会長】

質問、意見はあるか。

### 【佐藤忠治副会長】

以前、鵜の浜人魚館、ゆったりの郷、マリンホテルはまなすの3つの施設が掲載された利用案内のチラシが出ていた。いいことだと思う。今後も3地区の利用促進のPRをお願いしたい。

### 【滝澤G長】

Jーホールディングス株式会社が3施設の年末年始の営業について、混乱が生じないよう頸北地区に新聞折り込みにて周知したものであります。前回の地域協議会でも、「それぞれの施設ではなく、連携した取り組みができないか」という意見をいただいております、Jーホールディングスグループ全体の話も含め、私共も3区を担当しているので、そういった連携を含めながら皆様に利用していただけるようPRしていきたい。

### 【関清委員】

昨年12月の利用者数が3,500人であったが、一昨年の利用者数はどのくらいか。

### 【滝澤G長】

一昨年は、お風呂の利用者が4,724人であった。

**【五十嵐公子委員】**

ウォータースライダーについては、部分的な修理をして4月から使用できるようになるのか。

**【滝澤G長】**

破損個所が多く、修繕には時間とお金がかかる。今は予算もなく修繕ができない状態である。4月からのプールの営業再開に支障のないよう、スライダーとプールが繋がる穴の部分については塞ぐなどの処置を取りたいが、ウォータースライダーの修繕については、施設の今後の方向性も含め検討を進めていく。

**【君波豊会長】**

2週間くらい前に、公の施設の適正配置への意見聴取が終わった。鵜の浜人魚館は、令和6年以降、どうなっていくのかという心配がある。今回、配電盤が水の影響を受けているとのことだが、一番お金の掛かる場所である。タンクについては、新しいものに交換されるのか。

**【滝澤G長】**

破損したタンクからの漏水により、プール関係の配電盤や機器の一部が故障した。ご指摘のとおり経費も多くかかってくるが、必要な修繕として対応している。大浴場の濾過タンクは、新しいものに交換する。

**【君波豊会長】**

他に質問等はあるか。

(一同無し)

他に質問等がないようなので、報告事項を終了する。

(柿崎区総合事務所退席)

次に、協議事項（1）令和2年度地域活動支援事業（大潟区）成果報告会についてに入る。2月26日に開催する成果報告会について、運営方法等を協議する。まず、事務局から説明を願う。

**【水澤主任】**

資料No.2により説明。

**【君波豊会長】**

当日は午後5時集合である。司会、受付は、前回手を上げていただいた委員にお願い

する。それ以外の委員は、会場準備等や後片付けをお願いしたい。意見、質問はあるか。

**【細井雅明委員】**

地域協議会だよりに掲載する写真が欲しい。当日は、写真を撮る予定はあるか。

**【水澤主任】**

事務局で撮影する予定である。

**【山岸敏幸委員】**

会場は入口がたくさんあるので、換気の問題はないか。

**【水澤主任】**

準備の段階から暖房を入れて、寒くなりすぎないように気を配りながら換気を行いたい。

**【山岸敏幸委員】**

二酸化酸素の検知器があり、換気の目安がわかる。必要があれば持参する。

**【君波豊会長】**

他にあるか。

(一同無し)

委員の皆さんのご協力をお願いします。開催日までに気が付いたことがあれば、事務局に連絡をしてほしい。

次に(2)自主的審議事項についてに入る。各委員から自分の提案について説明を願う。

(各委員が資料No.3により説明。)

**【君波豊会長】**

俵木一松委員の「南大瀉地区高齢化対策」だが、今朝のテレビで、出雲崎町のコミュニティバスや乗り合いタクシーについて放送していた。そういったことを取り上げたいということか。

**【俵木一松委員】**

そうである。

**【関清委員】**

以前、見附市の買い物等に行くバスも放送されていた。そこでは、温泉施設と結び付けていた。そういった情報を集めてみてはどうか。

### 【俵木一松委員】

南大瀨としたが、実際は大瀨区全体の問題である。浜線はバス等があり移動がしやすいが、昔と比べると本数も減っている。そんな中、コミュニティバスや乗り合いタクシーが巡回するシステムがあれば、温泉施設利用者も多くなるし、買い物、通院も便利になると考えた。

### 【佐藤忠治副会長】

中部電力が火力発電所を造る時に、影響を受ける地域に電源立地交付金が交付され、その使い道を第1期の地域協議会に任された。その中に、私が提案した人材育成に関わる項目があった。まちづくり大瀨に依頼して、「めだかの学校」という名前で1、2年の間、人材育成を行った。本来は、町内会などの住民自治を担う人たちのためのものではあったが、継続されなかった。意識的に、住民活動に関心を持つ人や担う人を育成していかなければ、住民の声や意見を市政に反映できない。私は、そういう気持ちで提案した。土屋委員の提案は非常にいいと思う。第1期の地域協議会で、「総合計画の他に各地域協議会で地域ビジョンを作りなさい。」ということで作ったことがあった。13区が作成し、それを提案したが、総合計画の審議会で「全体のものがあればいい。地区計画は必要ない。」と却下された。私は、総合計画の説明会で「総合計画を作るために地区計画を作るべきだ。」とその度に言ってきたが、決定には至らなかった。その時は、地域協議会で地域の課題等を協議したので記録が残っていると思う。前期の地域協議会でも、自主的審議事項でそういった提案があったが、優先順位が低かったため実現はしなかった。

### 【土屋郁夫委員】

市の総合計画は、地域の住民から見ると抜け漏れがある。多分、市の予算や総合的な方向性の中で、できることしか挙げないと思う。行政としての計画ではなくて、住民が作る計画なので、行政の中で位置付けなくていい。どういう位置付けをするかの議論は必要だが、なりたい方向性ということなので、市のように毎年予算を付けなければいけないということではない。こういう方向で、みんなで事業を盛り上げましょうという計画である。そういう意味で、私は役所に無理にお願いするつもりはない。ただ、知恵をお借りしたい。市には、創造行政研究所など、いろいろな組織もある。そういうところで、地域のために役に立つものとはいう知恵を借りながら、皆さんで話し合いをしていければいいと思う。

**【佐藤忠治副会長】**

長野県飯田市では、地域自治区の中で、その地区の事業計画を作成して、市に提案し、その事業に対する予算が配分される。地域事業という形で、まちづくり委員会や地域協議会が活動しており、2年に1度くらい計画作成している。全国的な自治区制度の中では、そういった方法も採用されている。計画等は、1回作成するといいいのだが、新しく作成するとなると大変である。

**【土屋郁夫委員】**

前回、言葉だけ出したが、「SDGs」という世界的な人間の活動をどうしようという目標がある。小学校、中学校、これから高校でも総合的に地球全体を考えるとという中で、いろいろな世代の人たちを巻き込んだ将来ビジョン、そこには先ほど出た交通問題も含め、全国の状況、世界の状況を調べて、自分たちの住む町をどのように変えていきたいというのを描くのが大事であって、進んでいきたい方向を地域の中で作っていきたい。それは、行政の計画ではない。地域の中で、大潟という地域がこうしたいというビジョンがあればいいと思う。

**【佐藤忠治副会長】**

2年前に、板倉区が東北電力の支援を受けた。3年間くらい講師を派遣してもらい、商工会、青年団、住民団体に講師が来て、まちの計画を作るといったことをしていた。

**【君波豊会長】**

まちづくりには、いろいろな手法、助成があるが、地域協議会としては6次総合計画に示されている大きな項目に向けて提言できる。これから皆さんが協議する中で、ジムリーナや温泉を利用した活性化の提言していくことも方法としてはある。これからテーマを絞り込んで協議し、できれば市に提言することに結びつけられればいいと思う。また、地域活動支援事業等を活用するという方法もある。

**【関清委員】**

上越市はコンパクトシティ構想に賛同していると思うが、この中身についての説明というか、情報が知りたい。コンパクトシティは、地域を活性化していきたいということと対立してくる。

**【山岸敏幸委員】**

皆さんから趣旨説明等をいただいたが、これをやっても時間が足りない。今日は

ここまでにして、各委員が検討して、改めて集約する時間を設けるなど、区切りをつける方法を検討して欲しい。

**【君波豊会長】**

コンパクトシティについては、第6次総合計画の資料の中にあると思うので確認してみていただきたい。今、コンパクトシティに指定されているのは浦川原区であったと思う。自主的審議事項については、どなたの案をテーマにするかは分からないが、できれば市に提言できる、あるいは地域活動支援事業を使って実現できるというところを持っていきたい。

**【佐藤忠治副会長】**

前期では、どのようにすればいいか分からなかったので、創造行政研究所の内海氏から、どのようにみんなの意見をまとめていったらいいのかを講義していただいた。共通認識として自主的審議事項の問題を協議するにあたって、どのような知識や観点が必要かを教えていただいた。そして、協議のうえ、賛否を取って決定した。第3期の時は、3つのグループに分かれて関係団体に聞き取りを行い、それぞれでまとめて協議をしたが、意見書や事業に結びつけることはできなかった。進め方として一番いいのは、関さんからも話があったが、会長会議での野澤副市長の講演の内容がとてもよかったので、それを基に、どのテーマがいいのかを意見交換して決定するのがいいと考える。

**【君波豊会長】**

趣旨説明と若干の意見交換、さらに突っ込んだ提案等があったが、この次の機会にテーマの絞り込みを行いたいと思うがよろしいか。

(一同了承)

お互いに考えを持ち寄っていただきたい。

その他に入る。

まず、地域協議会だより第47号については、3月25日号に併せて発行予定であり、作業を進めている。

研修会についてであるが、もう少し気候が良くなった頃に、先ほどから話に出ている野澤副市長の講演も含めて検討したいと思う。

各委員から何かあるか。

**【土屋郁夫委員】**

3月5日に希望館で頸城区の地域活動支援事業の成果報告会が開催されるという案内を見たので紹介する。

**【新保輝松委員】**

今日は、地区公民館で地域協議会が開催された。広い会場だと話が聞きづらい。ソーシャルディスタンスも大事であるが、もう少し、距離を詰めた配置でもいいのではないか。

**【水澤主任】**

今後も状況によって会場が変更となる場合がある。マイクの用意や席の配置を検討し対応していきたい。

**【君波豊会長】**

事務局から連絡事項はあるか。

**【柳澤次長】**

第12回地域協議会を3月18日（木）午後6時30分から大潟コミュニティプラザ大会議室で開催する。

**【佐藤忠治副会長】**

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線 201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。